

オプシヨン検査 (2022年度)

申込欄	オプシヨン名	検査項目	検査費用 (税込)	検査内容
①	大腸がん検査	便潜血検査 (2回法)	¥1,980-	大腸、直腸、肛門などから出血があると陽性になります。痔の場合でも反応します。
②	腎機能	クレアチニン検査	¥165-	腎機能の機能が低下すると、尿中に排泄されずに血液中に増加します。
③	糖代謝	HbA1c検査	¥550-	過去1〜2ヶ月間の平均的血糖値を反映しており、糖尿病の診断や糖尿病の治療に用います。(直前の食事時間の影響を受けません)
④	男性腫瘍マーカーセット	腫瘍マーカー (AFP、CEA、CA19-9、PSA)	¥7,700-	体内に腫瘍ができる、血液や尿に健康なときにはみられない物質が増えることがあります。これらの物質を腫瘍マーカーといひ、物質の量や種類によって腫瘍の存在を知ることがかかになります。腫瘍マーカーセットでは1種類だけではなく、何種類かを組み合わせて総合的に検査します。腫瘍マーカーはがん発見のための診断補助として用いられるもので、確定診断をするものではありません。腫瘍マーカーが基準値を超えていても、すぐにがんの存在を意味するものではありません。良性の腫瘍や慢性肝障害、腎障害、呼吸器の慢性炎症、高血糖などの病気でも強い反応を示すことがあります。
⑤	女性腫瘍マーカーセット	腫瘍マーカー (AFP、CEA、CA19-9、CA125)	¥7,700-	
⑥	腫瘍マーカー	AFP	¥2,200-	肝がんのマーカーとして知られています。そのほか肝炎、肝硬変などのスクリーニングや診断、病状の経過観察に有用性の高い腫瘍マーカーです。
⑦	腫瘍マーカー	CEA	¥2,200-	大腸がんをはじめとする各種の消化器系がんや肺がんなどさまざまながんや炎症性疾患で高値になります。スクリーニングに幅広く使われている腫瘍マーカーのひとつです。
⑧	腫瘍マーカー	CA19-9	¥2,750-	CA19-9は、消化器とくに膵臓・胆道などのがんで高値を示します場合があります。そのほか卵巣がん、卵巣腫瘍、子宮内膜症などに反応して高値を示すことがあります。
⑨	腫瘍マーカー	PSA	¥2,200-	PSAは、前立腺に特異的にみられる抗原で、前立腺がんや前立腺炎、前立腺肥大などの病気で値が上昇します。前立腺の病気が疑われるときに、はじめに行われるスクリーニング検査として利用されます。
⑩	腫瘍マーカー	CA125	¥2,750-	卵巣がん診断の基本となるマーカーです。そのほか、子宮内膜症、子宮腺筋症などに反応して値が上がります。ただ妊娠初期や月経時・閉経時に一過性の上昇がみられます。
⑪	ABC検診 (胃がんリスク検診)	ヘジシグニンI/IIとヘリコバクターピロリ抗体の組合せ	¥4,400-	ABC検診とは、ヘリコバクターピロリ抗体 (Hb抗体) 検査でピロリ菌感染の有無を、ヘジシグニン検査で胃粘膜萎縮度を調べ、その結果を組み合わせて胃がんのリスクを分類して評価する検診です。
		ヘリコバクターピロリ抗体・・・		胃がんHピロリ菌に感染していないか調べる検査です。Hピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気の引きがねになると考えられています。
		ヘジシグニンI/II・・・		胃粘膜の老化 (萎縮) の状態を調べる検査で、胃がん検診にも応用されています。萎縮が進んだ胃は、胃がんになりやすいといわれています。
⑫	脳梗塞・心筋梗塞リスク検査 (※)	LOX-index (ロックスインデックス)	¥13,200-	ロックスインデックスは、血液中の超悪玉コレステロール (LAB) とその担い手であるsLOX-1を測定・解析することで将来的な脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する血液検査です。検査結果で、脳梗塞・心筋梗塞のリスクがあれば予防対策を取って、早い段階からリスク回避していただけます。

※大腸がん検査以外全て血液によるオプシヨン検査です。

※ロックスインデックスは完全事前予約制になります。